

平成27年度全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門) 教育長挨拶

〔平成27年11月25日(水) 13:00～
松山市道後姫塚 にぎたつ会館〕

平成27年度全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日は、公益社団法人日本図書館協会の森茜理事長様をはじめ、全国各地から多数の図書館関係の皆様にご出席をいただき、愛媛県立図書館設立80周年の記念すべき年に、この愛媛の地で、研究集会が開催できますことは、誠に喜ばしく、心から厚く御礼申し上げます。

また、皆様方におかれましては、日頃から、図書館サービスを通して、地域の教育・文化の振興に多大な御貢献をされていることに対し、深く敬意を表するものであります。

さて、国においては「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、人口減少問題や地方創生への取組を強化しました。愛媛県でも、第六次愛媛県長期計画「愛媛の未来づくりプラン」において、喫緊の課題である「防災・減災対策」、「人口減少対策」、「地域経済の活性化」の三つのテーマに重点を置き、55の施策に取り組んでいるところです。

このような中、図書館には、県民や地域の新たな課題を解決する情報拠点、学習拠点としての機能が期待されています。

また、最近では、児童・生徒の自殺や不登校が深刻な問題としてマスコミに取り上げられておりますが、図書館はそうした子どもたちを受け入れ、落ち着かせる安らぎの場として注目されるなど、家庭、職場や学校とともに、個人の生活を支える場所として、情報・意見交換の場、地域活動の拠点として機能する、第三の場所「サードプレイス」としても着目されております。

このような社会情勢を踏まえ、本会では、「未来を切り拓く図書館を目指して～地域における図書館サービスの可能性を考える～」という研究主題のもと、アカデミック・リソース・ガイド株式会社の岡本真様の基調講演や各県の事例発表を通じまして、図書館が地域にどう貢献できるのか、活発な研究協議を行っていただきますことは、大変有意義であり大いに期待しているところであります。

ここ松山市は、「日本書紀」にも登場するわが国最古の温泉「道後温泉」や、江戸時代の天守閣が現存する松山城などがあり、「美しい日本の歴史的風土100選」にも選ばれております。また、去年は、四国八十八ヶ所霊場開創1200年を迎えるとともに、本年4月には四国遍路が日本遺産に認定され、四国八十八ヶ所霊場と遍路道の世界遺産登録の機運も高まっております。国指定重要文化財の道後温泉本館は、この「にぎたつ会館」のすぐ近くに位置しておりますので、この機会に是非お楽しみください。

最後に、この研究集会が実り多いものになりますことを希望いたしますとともに、お集まりの皆様方のますますの御健勝、御活躍、各図書館の御発展を祈念申し上げます、御挨拶といたします。